

令和5年度 研究概要

1 研究主題

「考えを明確に伝えることのできる児童の育成」

～ “書くこと” を通して～

2 研究主題について

<主題設定の理由>

自分の考えが相手に明確に伝わったと感じたとき、人は喜びを感じる。自分の考えを伝えるための方法の一つに「書くこと」がある。「書くこと」は私たちの生活の中に浸透し、切り離すことはできない。

児童は将来、インターネットや SNS の活用等により、今以上に膨大な量の情報に接していくこととなる。断片的に流れる情報を論理的に組み立て直すこと、さらに、メールや SNS など、相手意識をもちながら的確に文章をまとめて情報を発信することなどの「書く力」がこれまで以上に求められている。「書く力」を支え、高めていくために必要な力が、「論理的思考力」である。相手に明確に自分の考えを伝える文章を書くには、論理的であることは必要不可欠であり、「書く力」と「論理的思考力」の育成は、相乗の関係にあるといえる。「書くこと」を通して、「論理的思考力」を養い伸ばすことは、これからの時代を生きる児童にとって、重要な課題であるといえる。

今年度の学校経営の重点の中に、「自己肯定感・自己有用感」を高めることが新たに加えられた。「書くこと」は、自己に向き合い自己内対話を重ねる行為であり、相手や目的に応じてよりよく伝えるためには、言葉や表現技法を粘り強く考えるだけでなく、他者との対話も必要不可欠である。「書くこと」において、対話的な学びを積み重ねていくことは自他の存在を認め合うこととなり、それが児童の自己肯定感や自己有用感にもつながると考える。以上をふまえ、今年度も研究主題「考えを明確に伝えることのできる児童の育成」を継続し、研究を進めていく。

<今年度の研究について>

「書くこと」は思考力と直結しており、「読むこと」「話すこと・聞くこと」と比べ、児童にとっては難易度の高い活動である。児童が「書くこと」の難しさを感じる要因の一つとして、「何を書くのか」「どのように書くのか」といった見通しが不明確であることが考えられた。そのため、昨年度は、次頁（図1）のような、「ラーニングマウンテン」を活用し、学習のゴールに向けて「学びを継続する問い」を立て、児童自らがその解決のために進んで学習に取り組むことを目指すといった学習過程をとりながら活動に取り組んだ。さらに、教材や教師見本から学び、自分の考えを「書くこと」に活かす力を育成することを研究の重点とした。このように、「何を書くのか」を明確にした上で、表現形式を学び、相手や目的に応じて書くといった、児童が書きやすい環境を整えることで、書くことができた喜びや自信を児童に感じさせることができた。

一方で、「語彙」に関する手立てへの課題が多く挙げられた。児童が自分の考えを明確に伝えら

れるようになるためには、内的思考を表すための語彙を充実させることが欠かせない。さらに、豊富な語彙の中から、自分が伝えたいことを表現するのに適したものを選ぶ力は、容易に育てることはできない。故に、児童が日々の言語生活の中で、語彙を獲得し、表現する場を意図的に多く設定するが大切であると考え。「論理的思考力」をはたらかせ、言葉を吟味し、言葉の配列を模索する中で、自分の考えを明確に伝えるために適切な語彙を選択するといった力を磨くべく、昨年度の手立てを生かしながら、今年度は重点を「語彙」に関するものに絞り、研究を進めていく。

市川小が目指す「考えを明確に伝えることのできる児童」とは、単に書けるというよりも、「書こうとする児童」「書く意欲をもった児童」ではないかと考える。そういった児童の姿を目指す中で、国語科で培った力を国語科の枠を越え、児童が書くことの楽しさを体感すること、そして書けたという実感をもつこと、さらには書くことで自分や友だちの良さに気づこうとする姿を育てたい。

以上のことから、「考えを明確に伝えることのできる児童の育成」のための手立てを明らかにしていくことで、本校の教育目標である「夢の実現に向けて行動する子供の育成」の具現化を図っていきたい。

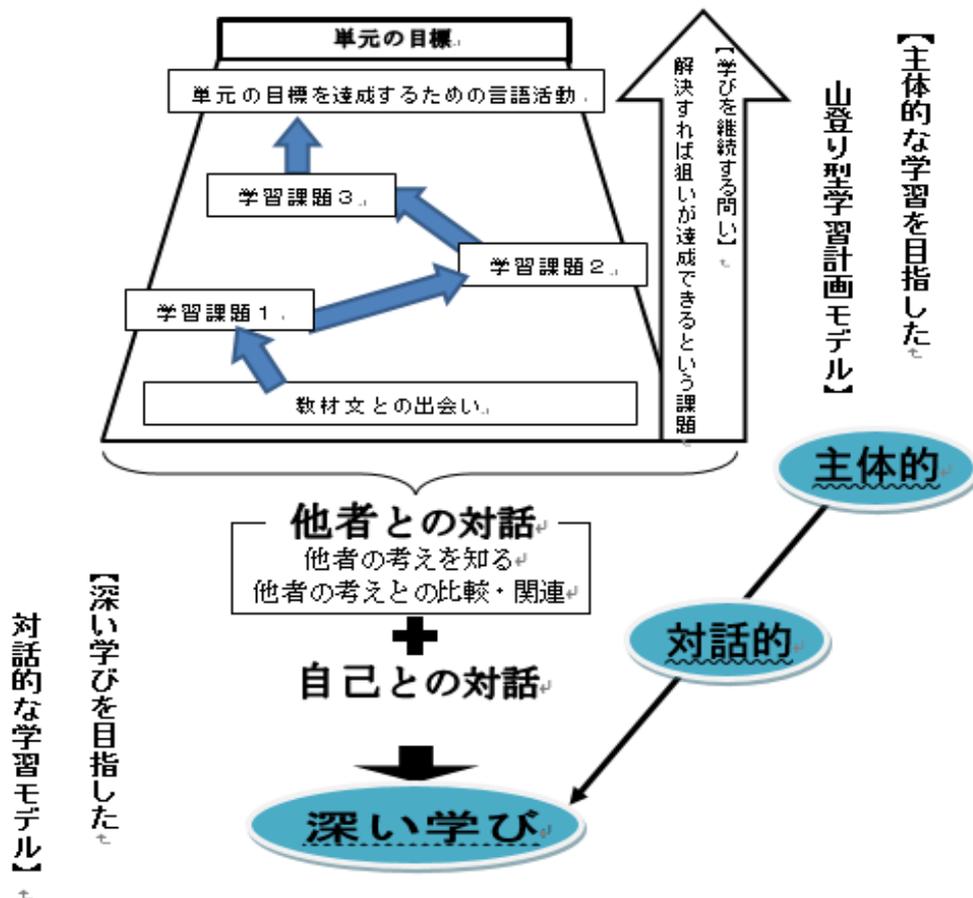


図1 「学びを継続する問いを掴む」学習の流れ
(ラーニングマウンテン)

<研究の重点>

○語彙（理解語彙・使用語彙）を豊かにする

- ・各学年の実態に応じ、「書くこと」を中心とした日常的な言語活動を積み重ねていく。
（日記、新聞、手紙、観察記録、各教科領域での学習の振り返り等）
- ・各学年の言語活動の校内掲示や他学年との交流を取り入れていく。
- ・国語科に限らず日常的に辞書を活用することで言葉の意味を知り、自分の文章に活用する習慣をつける。（理解語彙・使用語彙）

3 研究計画

【2年計画】

年度	研究計画
令和4年度	考えを明確に伝える力を育むための、「書くこと」の指導の在り方
令和5年度 (今年度)	語彙（理解語彙・使用語彙）を豊かにする言語活動を設定する